

2024年3月の安全衛生カレンダー

1日~10日

11月 1日~3月 31日◎冬の省エネキャンペーン(資源エネルギー庁) ◎ウォームビズ

12月 1日~4月 30日◎安全衛生教育促進運動(中央労働災害防止協会、厚生労働省)

01月 15日~5月 31日◎緑の募金(国土緑化推進機構)

02月 1日~3月 18日◎サイバーセキュリティ月間(内閣府)

03月 1日~5月 31日◎春の農作業安全確認運動(農林水産省)

1日~31日◎建設業年度末労働災害防止強調月間(建設業労働災害防止協会) ◎自殺対策強化月間(内閣府)

1日~7日○春季全国火災予防運動(消防庁) ○車両火災予防運動(消防庁、国交省) ○全国山火事予防運動(消防庁、林野庁)

○建築物防災週間(国土交通省) ○子ども予防接種週間(日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省)

1日~8日○女性の健康週間(厚生労働省、日本産科婦人科学会)

1日(金)・省エネの日(毎月1日、資源エネルギー庁)

・ビキニデー 米 太平洋ビキニ環礁で世界初の水爆実験 1954(昭和29)年日本のマグロ漁船第五福竜丸が死の灰を浴びて23人が被爆、1人死亡

★産業火薬製造販売会社の原料倉庫で爆発、1人行方不明1人負傷 宮崎・延岡 2022(令和4)

2日(土)★明暦大火(振袖火事)本郷から出火、死者10万人以上 乾燥空気と強風にあおられ、江戸の下町を焼き尽くす、江戸城天守焼失 1657(明暦3)

★特急電車が車止めを乗り越えて駅舎に激突、1人死亡10人重軽傷 高知・宿毛 2005(平成17)

3日(日)・ひな祭り(桃の節句)

・耳の日(厚生労働省、日本耳鼻咽喉科学会)

★「昭和三陸地震・津波」M8.1、三陸沿岸で高さ10mの津波(一部で29m)、死者3,000人以上 1933(昭和8)

4日(月)★「十勝沖地震」M8.2、北海道東部、東北北部に被害、33人死亡、287人負傷 1952(昭和27)

★羽田空港に着陸しようとしたカナダ太平洋航空DC8が滑走路手前に墜落、64人死亡 1966(昭和41)

★製鉄所の高炉が爆発して1人死亡、5人負傷 兵庫・加古川 1988(昭和63)

5日(火)・啓蟄(けいちつ) 24節気の一つ、冬ごもりの虫がはい出してくる時期

★米坂線小国~玉川口駅間で列車が雪崩で川に転落・炎上15人死亡、30人負傷 山形・小国 1940(昭和15)

★英国航空のボーイング707が富士山上空で乱気流により空中分解、124人全員死亡 1966(昭和41)

★山岳遭難救助訓練の防災ヘリが山中に墜落 操縦士、整備士、消防隊員9人全員死亡 長野・松本 2017(平成29)

6日(水)★映画館で出火、積雪で非常口が開かず 205人死亡 北海道・倶知安 1943(昭和18)

★国道1号線鈴鹿トンネル内でトラック13台が衝突炎上して13人が負傷 滋賀・三重 1967(昭和42)

7日(木)・消防記念日 1948(昭和23)、消防組織法施行を記念

★「北丹後地震」M7.3 京都府北西部で死者2,925人、家屋全壊3,000戸以上 1927(昭和2)

★自動車部品工場の鋳造所で溶接作業中マグネシウムに引火爆発、2人死亡、1人負傷 栃木・壬生 2008(平成20)

★鉄鋼メーカー工場で鉄粉加工中に機械が爆発、1人死亡、2人負傷 兵庫・高砂 2022(令和4)

8日(金)・国際女性デー 女性の権利と世界平和を目指すとして、1977年3月8日の国連総会で決議

・急死した主人の帰りを東京・渋谷駅で10年待ち続けた忠犬ハチ公死ぬ 1935(昭和10)

★電車が駅進入の際急カーブで脱線、対向電車に衝突して5人死亡、63人負傷 東京・目黒 2000(平成12)

9日(土)・関門国道トンネル開通記念日 1958(昭和33)年、世界初の海底道路3,461mが開通、シールド工法を初採用

★国道309号水越トンネルでトラックが出火 荷のプラスチックが燃え煙と有毒ガス、熱気で18人負傷 大阪・南河内 2008(平成20)

★博物館の空調設備点検中、アンモニアガスが噴出し1人死亡、8人負傷 福岡・大宰府 2009(平成21)

★製鉄所で補修工事のためガス配管からガスを放出中、CO中毒 1人死亡、1人重傷 岡山・倉敷 2019(令和元)

10日(日)・LPガス消費者保安デー(毎月10日、高圧ガス保安協会)

・東京大空襲の日 1945(昭和20)年のこの日の空襲で死者10万人、焼失家屋27万戸 ・東京都平和の日

・新幹線、岡山~博多間開業、東京・博多間全通 1975(昭和50)

★新関門トンネル開通 昭和45年からの犠牲者35人 1975(昭和50)

★雑居ビル2階のスナックから出火し、建材の有毒ガスで11人死亡 新潟市 1978(昭和53)

★下水道工事現場でマンホール清掃中、酸欠で2人死亡 埼玉・日高 2010(平成22)

★カセットボンベ製造会社でガス爆発・火災 男性4人ケガ、周辺山林に延焼 福島・二本松 2023(令和5)

3月の安全衛生歳時記

11日~20日

11日(月)○春の睡眠健康週間(～25日、睡眠健康推進機構)(秋:8月27日～9月10日)

- ★ホテルの警備員室の石油ストーブが転倒して火災、30人死亡、29人負傷 群馬・水上温泉 1966(昭和41)
- ★下水道工事現場で、雨水管の土砂除去作業中、硫化水素中毒で5人死亡 愛知・半田 2002(平成14)
- ★「東日本大震災」三陸沖でM9の大地震と巨大津波、死者不明約2万人、原発事故発生 2011(平成23)

12日(火)・製品安全点検日(毎月第2火曜、経済産業省)

- ★千葉県銚子沖で暴風雪のため漁船116隻が遭難、1,400人余が行方不明 1910(明治43)
- ★木工工場で、煙の出た集じん機のダクトに入った2人と救助の1人が酸欠で死亡 岐阜・美濃 2013(平成25)

13日(水)・日本初の救急車が登場 1933(昭和8)年、横浜山下町消防署に配備(東京は12月29日に日赤が配備)

- ・青函トンネル開業 1988(昭和63)、着工からの犠牲者34人、この日、青函連絡船が最終航海、80年の歴史に幕
- ★高崎線上尾駅で、乗客が電車や駅舎を破壊するなどの暴動 国鉄の順法闘争に怒った1万人 埼玉・上尾 1973(昭和48)
- ★ビル解体中壁が落下し作業員2人、車中の男女2人の計4人死亡 静岡・富士市 2003(平成15)
- ★木造2階建グループホームで火災、7人死亡、2人負傷 1階食堂のストーブ付近から出火 北海道・札幌 2010(平成22)

14日(木)・世界腎臓デー(3月第2木曜、国際腎臓病学会)

- ★北海道大学山岳部の6人が大規模な雪崩に巻き込まれ全員死亡 北海道・日高山脈 1965(昭和40)
- ★カメラ部品工場で洗浄用のガソリンが引火爆発、8人死亡、2人負傷 神奈川・川崎 1981(昭和56)
- ★高架軌道工事中、橋げたが落下し乗用車のドライバー、作業員ら15人死亡 広島市 1991(平成3)

15日(金)★日光東照宮焼失境内の重要文化財薬師堂焼失 同堂天井の「鳴竜」も焼失し、1968年に復元 1961(昭和36)

- ★水道局で取水井戸を点検中、酸欠で6人死亡、2人負傷 大阪・羽曳野 1977(昭和52)
- ★東武線の手動踏切で、遮断機が上った直後に電車が進入し、2人死亡、2人負傷 東京・足立 2005(平成17)
- ★金属リサイクル工場でプレス機を点検中プレス機が駆動し、全身を挟まれて死亡 群馬・大田 2018(平成30)

16日(土)・少年を非行から守る日(毎月第3土曜、警察庁)

- ・点字ブロックの日 1967(昭和42)年のこの日、岡山県立盲学校の近くに点字ブロック(視覚障害者誘導用ブロック)が設置、世界初
- ★北陸本線のトンネル坑口付近で地滑り、4人死亡、21人負傷 山腹が広範囲に渡り崩壊 新潟・糸魚川 1963(昭和38)
- ★福島県沖が震源の震度6強の地震 宮城・福島両県で3人死亡、180人超負傷、広範囲で停電、交通に多大な影響 2022(令和4)

17日(日)・東京ドーム完成、日本初の屋内野球場 1988(昭和63)

- ★降雪の道央自動車道で120台の玉突き事故、2人死亡、75人負傷 北海道・千歳 1992(平成4)
- ★牧草地で野焼き作業中、火に巻き込まれお年寄り4人死亡、2人負傷 大分・湯布院 2009(平成21)
- ★山陽自動車道のトンネルで車両9台が衝突、5台炎上 2人死亡、重傷1人含む人70人以上負傷 広島・東広島 2016(平成28)
- ★リサイクル工場でドラム缶100本以上が爆発・炎上、1人死亡、2人負傷 茨城・稲城 2017(平成29)

18日(月)・春の睡眠の日(睡眠健康推進機構)(秋:9月3日)

- ・二輪・自転車安全日(毎月18日、警視庁)
- ★有田川に架設工事中の吊り橋が落下、3人死亡、2人負傷 和歌山 1986(昭和61)
- ★スーパー4階のカーテン売り場から出火、防火扉が閉鎖せず客ら15人死亡、6人負傷 兵庫・尼崎 1990(平成2)
- ★源泉施設で湯量などを調整中の作業員2人と市職員1人が硫化水素中毒で死亡 秋田・仙北 2015(平成27)
- ★生コン製造プラントで溶接作業中火災、2人死亡、1人負傷 北海道・興部 2015(平成27)

19日(火)・食育の日(毎月19日、内閣府)

- ・民間のボランティア活動などを支援する「特定非営利活動促進法」が成立(25日公布) 1998(平成10)
- ★釈迦岳トンネル工事現場で落盤、21人死亡、2人負傷 福岡 1953(昭和28)
- ★老人施設で火災、3棟全焼して入居者10人死亡 群馬・渋川 2009(平成21)

20日(水)・春分の日

- ・マイカーチェックデー(毎月20日)
- ★秋田県能代市で大火、市街の3分の1、約1,500戸焼失 1956(昭和31)
- ★富士山で登山者が暴風雨で大量遭難、24人死亡 1972(昭和47)
- ★上越新幹線大清水トンネル工事現場で、掘削機解体中油に引火、16人死亡、14人負傷 1979(昭和54)
- ★東京の地下鉄で朝のラッシュ時に猛毒のサリンが撒かれ12人死亡、数千人が中毒 1995(平成7)
- ★福岡県西方沖を震源とするM7の地震 福岡市で震度6弱、1人死亡、1,200人超負傷、9千棟以上損壊 2005(平成17)
- ★化学工場のセルロース製造設備で爆発・火災、17人重軽傷 新潟・上越 2007(平成19)
- ★野焼き作業中、火に巻き込まれて3人死亡 静岡・御殿場 2010(平成22)

3月の安全衛生歳時記

21日~31日

- 21日(木)・国際人種差別撤廃デー(国連)
 ・バルブの日(日本バルブ工業会)
 ★北海道函館市で大火、市街の大半23,600戸を焼失、死者不明2,716人 1934(昭和9)
 ★「浦河沖地震」M7.1 浦河町で震度6、地盤の液状化などの被害、167人負傷、700棟以上損壊 北海道・浦河 1982(昭和57)
- 22日(金)・秋田新幹線が開通、東京~秋田3時間49分 1997(平成9)
 ★熊野川電源開発工事現場で火薬が爆発、23人死亡、9人負傷 和歌山 1960(昭和35)
 ★東京電力奈川渡ダム工事現場で土砂崩れ、11人死亡 長野 1966(昭和41)
 ★ガソリンスタンドで給油中にガソリンが霧散して引火・火災、1人死亡、1人重傷 山梨・甲府 2000(平成12)
- 23日(土)・世界気象の日 1950(昭和25)年、世界気象機関(WMO)発足を記念(気象庁)
 ★「明石村雪泥流災害」大雨による山崩れで雪と泥流が下流の集落を襲い、87人が死亡 青森・明石[現・鱒ヶ沢] 1945(昭和20)
 ★雪でブレーキがきかなくなった電車が先行列車に追突、204人負傷 東京・西武線田無駅 1986(昭和61)
 ★成田空港で貨物航空機が着地に失敗して炎上、2人死亡 千葉・成田 2009(平成21)
- 24日(日)・世界結核デー 1882年、コッホが結核菌を発見したのを記念、世界保健機関(WHO)
 ・米アラスカ「エクソバルディーズ号」原油流出事故 原油タンカー座礁で海岸線1600km汚染、作業員の睡眠不足が原因 1989
 ★長野善光寺付近で大地震、死者6~7,000人、松代藩内で山崩れ4万箇所 1847(弘化4)
 ★「芸予地震」M6.7 広島・愛媛で家屋倒壊等により2人死亡、288人負傷 2001(平成13)
 ★製鉄工場でコンベヤーの不具合点検中コークスが落下、下敷きになって死亡 神奈川・川崎 2021(令和3)
- 25日(月)・電気記念日 1878(明治11)年、日本で初めて東京大学でアーク灯がともされた
 ・近代製鉄業発祥の新日鐵釜石製鐵所第1高炉が休止、初出鉄から103年目 1989(平成1)
 ★平尾台国定公園で野焼き中延焼、消防士5人が死亡 福岡・北九州 1977(昭和52)
 ★「能登半島地震」M6.9、1人死亡、297人重軽傷 石川・能登 2007(平成19)
 ★金属解体場でコンテナハウスを移動中のフォークリフトが横転、作業員が死亡 茨城・桜川 2022(令和4)
- 26日(火)・北海道新幹線が開通、東京~新函館北斗4時間2分 2016(平成28)
 ★鉄線製造工場で薬品誤注入により大量の塩素ガスが発生、従業員ら119人中毒 大阪・東大阪 1976(昭和51)
 ★ビルの自動回転扉に6歳男児が頭を挟まれて死亡 東京・六本木 2004(平成16)
 ★ウレタン製品製造工場で火災、約1,300㎡を焼損、初期消火の2人負傷 滋賀・豊郷 2018(平成30)
- 27日(水)★「越前岬沖地震」M6.9 若狭湾が震源、駿河湾・若狭湾沿岸で1人負傷、家屋2棟全壊、山崩れ・土砂崩れ 1963(昭和38)
 ★スキー場近くで雪崩、雪中ラッセル訓練中の高校生ら8人死亡、40人負傷 栃木・那須 2017(平成29)
 ★東名阪自動車道で大型トラック等3台が多重事故 8人が救急搬送、うち3人死亡、1人重体 三重・亀山 2023(令和5)
- 28日(木)★米ペンシルバニア州スリーマイル島原子力発電所事故 大量の放射能が流出、作業員の睡眠不足による人為ミス 1979(昭和54)
 ★北関東道でLPガス運搬中のローリーがコンクリ壁に衝突横転、運転手が死亡 栃木・足利 2021(令和3)
- 29日(金)・工場労働者保護の「工場法」が公布 1911(明治44) 我国初の労働立法、施行は大正5年
 ★特殊浴場でボイラーに給油中、重油に引火して火災、5人死亡 東京・新宿 1969(昭和44)
 ★鋳物工場で溶解炉の弁詰りでノロが冷却水に触れて水蒸気爆発、1人死亡、9人負傷 山形市 1990(平成2)
- 30日(土)★福井市で大火、強風にあおられ3,200戸焼失 1902(明治35)
 ★石油化学工場でアセチレンプラントが爆発、4人死亡、9人負傷 山口・徳山 1973(昭和48)
 ★踏切で列車がミキサー車と衝突、1人死亡、62人負傷 千葉・外房線 1984(昭和59)
 ★急患搬送に向かった自衛隊ヘリが山中に激突炎上、乗員4人死亡 鹿児島・徳之島 2007(平成19)
 ★製鉄所で炉のレンガ交換中鉄が剥がれて落下、熱風で2人が重傷の火傷 和歌山・和歌山 2008(平成20)
 ★沖の鳥島の港湾施設建設現場で、引船で移動中の栈橋が転覆、乗っていた7人死亡 2014(平成26)
- 31日(日)・国鉄、115年の歴史に幕、民営化へ 1987(昭和62)
 ★日本で初のハイジャック(よど号事件)、過激派が日航機を乗っ取り北朝鮮へ 1970(昭和45)
 ★石油製油所で重油直接脱硫装置が爆発火災、5人死亡、3人負傷 茨城・鹿島 1982(昭和57)
 ★北海道・有珠山が噴火、水蒸気爆発を繰り返し同年夏にほぼ終息 2000(平成12)
 ★製鉄所でコークスガス配管取替え工事中炎が噴出、1人死亡、5人火傷 愛知・東海 2007(平成19)
 ★ビル工事現場で工事用エレベーターが落下、かご内で作業中の作業員が死亡 東京・銀座 2022(令和4)

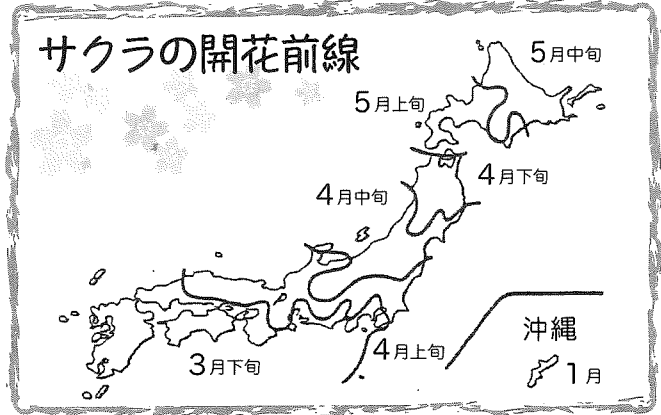
※「事故災害事例」は、国内の重大な事故・労災・気象災害等の中から選んでいます。

3月の安全衛生歳時記

3月の気象と安全・衛生・防災管理

	日の出・日の入		気温 (°C)	湿度 (%)	日照時間 (h)
	日の出	日の入			
北海道 (札幌)	5:47	17:41	1.1	65	144.7
青森	5:49	17:44	2.8	70	126.0
岩手 (盛岡)	5:47	17:42	2.6	67	157.8
宮城 (仙台)	5:48	17:44	5.5	61	178.6
秋田	5:51	17:47	4.0	68	121.5
山形	5:51	17:46	4.0	69	140.4
福島	5:49	17:45	5.9	61	175.1
茨城 (水戸)	5:49	17:46	7.4	66	182.7
栃木 (宇都宮)	5:51	17:48	7.4	60	194.2
群馬 (前橋)	5:55	17:51	7.9	52	211.0
埼玉 (熊谷)	5:52	17:49	8.6	55	203.2
千葉 (銚子)	5:50	17:47	9.7	68	168.9
東京	5:52	17:49	9.4	57	175.3
神奈川 (横浜)	5:52	17:49	9.7	60	168.8
新潟	5:55	17:51	6.2	68	136.8
富山	6:02	17:59	6.9	73	135.9
石川 (金沢)	6:04	18:01	7.3	66	144.8
福井	6:06	18:03	7.2	71	136.3
山梨 (甲府)	5:56	17:53	8.6	55	206.3
長野	5:58	17:55	4.3	68	173.3
岐阜	6:04	18:01	9.0	58	196.2
静岡	5:57	17:54	10.7	62	189.9
愛知 (名古屋)	6:03	18:00	9.2	58	199.7
三重 (津)	6:04	18:02	9.0	62	186.1
滋賀 (彦根)	6:07	18:04	7.3	72	162.6
京都	6:08	18:05	8.8	61	155.4
大阪	6:09	18:06	9.9	59	172.2
兵庫 (神戸)	6:10	18:07	9.8	61	175.8
奈良	6:07	18:04	8.0	67	156.4
和歌山	6:10	18:07	9.9	60	179.6
鳥取	6:14	18:11	7.9	70	131.3
島根 (松江)	6:18	18:15	8.0	72	140.5
岡山	6:15	18:12	8.7	65	177.8
広島	6:21	18:18	9.5	62	176.7
山口 (下関)	6:25	18:22	10.3	65	162.9
徳島	6:12	18:10	9.9	61	179.8
香川 (高松)	6:14	18:12	9.4	62	175.0
愛媛 (松山)	6:19	18:17	9.9	63	175.1
高知	6:16	18:14	11.2	62	192.2
福岡	6:29	18:26	10.8	63	161.2
佐賀	6:29	18:27	10.4	65	169.0
長崎	6:31	18:29	11.2	65	159.5
熊本	6:27	18:25	10.9	66	169.6
大分	6:24	18:21	10.2	65	175.0
宮崎	6:24	18:22	12.1	68	185.6
鹿児島	6:28	18:26	12.8	66	163.2
沖縄 (那覇)	6:39	18:38	19.1	71	115.3

※日の出・日の入：15日における時刻（国立天文台）
 ※気温：1991～2020年の平均値（理科年表）



● 3月は高気圧と低気圧が日本付近を交互に通過するため、この時期は天気は短い周期で変わるようになります。暖かい日と寒い日が交互に現れ、南からの暖かい空気が流れ込んで、春一番が吹くなど強風の日が多くなるので、屋外作業や車の運転などには注意が必要です。

● 月の後半は、高気圧に覆われておだやかに晴れて日差しが暖かく感じられるようになりますが、朝は気温が下がって冷え込むことがあり、昼夜の気温差が大きくなります。寒暖差や気圧の変化で疲労感や倦怠感などの「春バテ」になることもあります。体調管理に注意しましょう。

● 3月1日から7日まで「春季全国火災予防運動」が実施されます。消防庁から示される重点目標（P.27参照）などを参考に、職場や家庭の防火管理を見直して改善していきましょう。

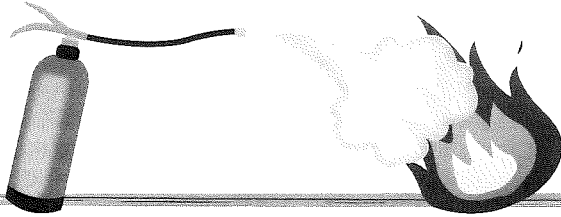
● 職場の安全衛生管理では、年度末の追い込みによる作業の輻輳（ふくそう）や人事異動などで、職場の雰囲気も落着きを失いがちな時期です。また、季節の変わり目による体調変化なども起こりやすい時期でもあります。安全衛生の基本を守って事故・災害を防止しましょう。

3月の安全衛生歳時記

3月1日～7日

春季全国火災予防運動

火を消して 不安を消して つなぐ未来



《全国統一重点目標》(参考：令和5年実施要項より抜粋)

- 住宅防火対策の推進
 - ・住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理
 - ・住宅用消火器を始めとした住宅用火災警報器の普及促進
 - ・たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
 - ・防災品の周知及び普及促進
 - ・消防団、女性防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
 - ・地域の実情に即した効果的な広報の推進
 - ・高齢者等の要配慮者に重点を置いた共助の推進
 - ・地震、台風等の自然災害時における火災対策の推進
- 乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
 - ・延焼拡大危険性の高い地域を中心とした火災予防広報や警戒の徹底
 - ・火災予防広報の実施
 - ・たき火等を行う場合の消火準備及び監視の励行
 - ・火気取扱いにおける注意の徹底
 - ・工事等における火気管理の徹底
- 木造飲食店等が密集する地域に対する防火指導の推進
- 放火火災防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ・防火対象物の用途に応じた防火安全対策の徹底
 - ・違反のある防火対象物に対する是正指導の推進
 - ・防火管理体制と適切な維持管理の推進
 - ・消防用設備等の維持管理の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
 - ・製品の適切な使用・維持管理の徹底及び製品火災に関する注意情報の周知
- 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
 - ・ガソリン等の貯蔵・取扱いに対する指導
 - ・火気器具を使用する屋台等への指導
 - ・照明器具の取扱いに係る指導
- 林野火災予防対策の推進

※ 詳細は総務省消防庁HP 参照

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」を全国統一防火標語として、3月1日から7日まで「春季全国火災予防運動」が実施されます。

(主唱 消防庁)

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることで火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年春と秋に実施されています。

3月は空気の乾燥や強風の影響で火災が発生しやすい時季です。月別の火災発生件数では、令和4年が4107件で最多月、令和5年も4662件で2年連続で最多、前年同月比で555件増加する形になっています。

日頃から防災意識を持つことが大切ですが、特に火災の発生しやすいこの時季は、防災意識をより高め、火災が発生しないように気をつけていきましょう。

3月の安全衛生歳時記

3月1日~31日

建設業年度末労働災害防止強調月間

重点実施事項 [参考: 令和4年度実施要領 (概要)]

- 1 経営トップ等による年度末現場点検の実施
- 2 墜落・転落災害の防止
 - ・高所作業における作業床、手すり等の設置。設置が困難な場合は、安全ネットや安全带取付設備の設置。
 - ・新規格のフルハーネス型及び胴ベルト型安全帯の選定・特別教育の受講・使用前点検の実施と確実な使用。
 - ・「より安全な措置」として法定の措置に加え、わく組足場の上さん、わく組足場以外の幅木等の設置。
 - ・足場の組立て等においては、「手すり先行工法」や十分な安全対策を盛り込んだ「大組、大払工法」等の採用並びに作業主任者・作業指揮者による作業手順の周知徹底及び作業状況の確認。
 - ・足場点検実務者研修の修了者等による足場の組立て・一部解体もしくは変更後や悪天候後の点検の実施及び事業者による始業前点検の確実な実施。
 - ・開口部や作業床の端には、手すり、中さん等の設置及び注意喚起の表示等の「見える化」の推進。
- 3 建設機械・クレーン等災害の防止
 - ・適切な機械の選定等、リスク低減措置を盛り込んだ施工計画及び作業計画、作業手順書の作成と実施。
 - ・車両系建設機械、クレーン等の転倒・転落防止対策、立入禁止措置、作業識者・誘導者の配置等、はさまれ・巻き込まれ災害防止対策の徹底。
 - ・有資格者による運転及び玉掛け・玉はずし作業の徹底。
- 4 倒壊・崩壊災害の防止
 - ・解体工事等における、危険防止措置を盛り込んだ作業計画・作業手順の作成と実施。
 - ・足場倒壊防止対策、「土止め先行工法」の実施。
- 5 飛来・落下による公衆災害の防止
- 6 交通労働災害の防止
 - ・長時間連続運転の禁止、運転者の定期健診の実施状況及び運転前の健康状態の把握、ながら運転厳禁。
- 7 火災・爆発等災害の防止
 - ・消防設備の点検・整備、火気管理の徹底。
 - ・断熱材使用箇所の確認、溶接・溶断作業時の火災防止対策の徹底、無火気工法の採用。
- 8 転倒災害の防止
 - ・「STOP! 転倒災害プロジェクト」の推進。
 - ・段差等の解消、危険の「見える化」の実施、照度確保。
- 9 不安全行動による災害の防止
 - ・「危険予知活動」、「ヒヤリハット運動」、「ひと声かけあい運動」等の積極的な実施。
 - ・「近道・省略行為」禁止の徹底、「見える化」の推進。
- 10 安全衛生教育の推進
 - ・「新規参入者教育」、「送り出し教育」等の安全衛生教育の実施。
 - ・フルハーネス、足場組立て等特別教育の徹底。
 - ・作業内容変更時の作業内容・手順の再周知の徹底。
- 11 職業性疾病の防止
- 12 化学物質に関するリスクアセスメントの実施
- 13 現場におけるメンタルヘルス対策の推進
- 14 健康確保対策の充実



3月1日から31日までは「建設業年度末労働災害防止強調月間」です。(主催 建設業労働災害防止協会、後援 厚生労働省、国土交通省)

年度末は、多くの工事が完工時期を迎え、作業が輻輳(ふくそう)して繁忙度が増すことから、労働災害防止を図る上で特別な配慮が求められる時期です。建設業労働災害防止協会では、「実施要領」に定める重点実施事項を参考に、建築現場の管理者等の関係者と店社が緊密に連携して、現場の実情に即した実施計画を作成し、労働災害防止活動を積極的に展開して、年度末を無事故・無災害で締めるよう呼びかけています。

(詳細は建災防HPに)